

専門科目 保健政策・医療管理学分野

(博士後期課程)

科目名	保健政策学特論	code number : HPM 511	選択必修	1 単位
-----	---------	--------------------------	------	------

科目責任者	福田 吉治 教授						
配当年次	1年次	配当学期	前期(後半)	曜日・時限	水曜 3,4時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

まず、保健政策（ヘルスポリシー）の基本的な理論やモデル、根拠に基づく政策立案の手法を説明する。後に、実際の行政に関わっている非常勤講師や実務家教員等より、わが国の厚生行政の仕組み等について講義を行う。さらに、個別な政策として、NCD対策（健康づくり、健康増進計画等）、がん対策、医師等の人材育成・確保対策、母子保健、精神保健、障害者保健、学校保健、地域医療構想、地域包括ケアシステム等について概要を説明する。まとめとして、各受講生が関心のある領域あるいはこれまでに経験した領域についての現状と課題、今後のあり方の提言をまとめてもらう。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

保健政策（ヘルスポリシー）の基本的な考え方と理論、現在行われている健康政策を理解し、その課題を抽出し、課題解決のために必要な政策を提言し、実施できるための知識と技術を習得する。

【行動目標(SBO)】

1. 公衆衛生における政策分析の重要性を説明できる。
2. 政策分析トライアングルを説明できる。
3. アジェンダ設定と政策決定モデルを概説できる。
4. 保健政策におけるステークホルダー分析ができる。
5. 保健政策における研究者の役割とエビデンスの活用について概説できる。
6. 保健政策の評価方法と評価計画を説明できる。
7. 学習した理論等を活用し、具体的な保健政策の立案ができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 授業内での発言・発表・討議参加(40%)
- (2) 課題レポート(60%)

注) レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。出席点による加点は行わないが、欠席・遅刻は減点の対象と

4. 教科書・テキスト

・適宜提示する。

5. 参考書

・Buse K, Mays N, Walt G. Making Health Policy (2nd edition). Open University Press. 2012.

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・指定する文献・資料等を事前に読んで理解すること。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

保健政策学特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	6/23(水)	3	福田 吉治 教授	ヘルス・ポリシーの理論1:政策分析トライアングル、アジェンダ設定、プランニングモデル
2	6/23(水)	4	福田 吉治 教授	ヘルス・ポリシーの理論2:ステークホルダー分析、研究者の役割、評価
3	7/14(水)	3	渋谷 克彦 講師 中西 浩之 講師(非)	公衆衛生行政の実際
4	7/14(水)	4	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	日本の公衆衛生施策1:NCD対策、がん対策、たばこ対策
5	7/21(水)	3	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	日本の公衆衛生施策2:母子保健、精神保健、人材育成・確保、等
6	7/21(水)	4	近藤 久禎 講師(非)	公衆衛生危機管理:DMATの事例から
7	8/4(水)	3	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	日本の公衆衛生施策3:障害者保健、自殺対策、データヘルス計画、等
8	8/4(水)	4	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	日本の公衆衛生施策4:医療、社会保障、地域医療構想、地域包括ケアシステム、等